

ゴールドマン・サックス社債／ ROBOPRO戦略ファンド2025-12

愛称：ロボットプラス

単位型投信／内外／資産複合／特殊型(条件付運用型)

ファンドは特化型運用を行います。

お申込みの際は必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

お申込み・投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は

岡三証券

商号等：岡三証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第53号
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用は

SBI 岡三アセットマネジメント

商号等：SBI岡三アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第370号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会



しっかりまもる、 かしこくプラス

いまより、ちょっと前へ。
AIとともに、かしこく
資産を育てる投資信託です。

物価が上がっていく今。
お金をそのまま置いておくと、
いつのまにか価値が減っているかもしれません。

当ファンドは、AIを活用して将来を予測し、
リスクをコントロールしながら資産運用を行います。

じっくり見守りながら、
資産が育つのを楽しんでみませんか？

当ファンドは円建て債券に投資し、約6年後の満期まで保有します。
円建て債券の運用成果は、満期償還時に元本確保を目指す「**安定運用部分**」と
リターンの獲得を目指す「**積極運用部分**」で構成されています。



安定運用部分

約6年後の満期償還時に
元本確保を目指す

積極運用部分

AI予測を活用した
「ROBOPRO*戦略VT5指標」の
パフォーマンスに連動した
リターンの獲得を目指す

*「ROBOPRO®」は株式会社FOLIOの登録商標です。

当ファンドのイメージ図

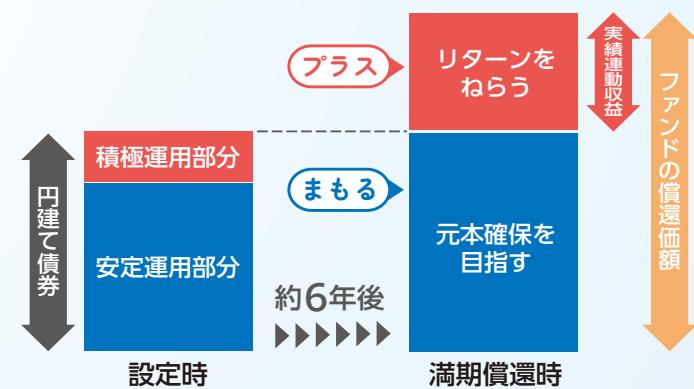
お客様



当ファンド



当ファンドが投資する円建て債券



※上記はイメージ図です。

※投資先の円建て債券はザ・ゴールドマン・サックス・グループ・インクが発行または保証する社債等を裏付資産とする円建て債券です。

- ファンドは満期償還時に元本を上回る投資成果を目指しますが、元本の確保を保証するものではありません。元本に購入時手数料は含まれません。
- 投資する債券の発行体等が債務不履行となった場合等には、元本が毀損される場合があります。
- 信託期間中にファンドを解約した場合やファンドが繰上償還された場合等には、換金価額や償還価額が元本を下回る場合があります。

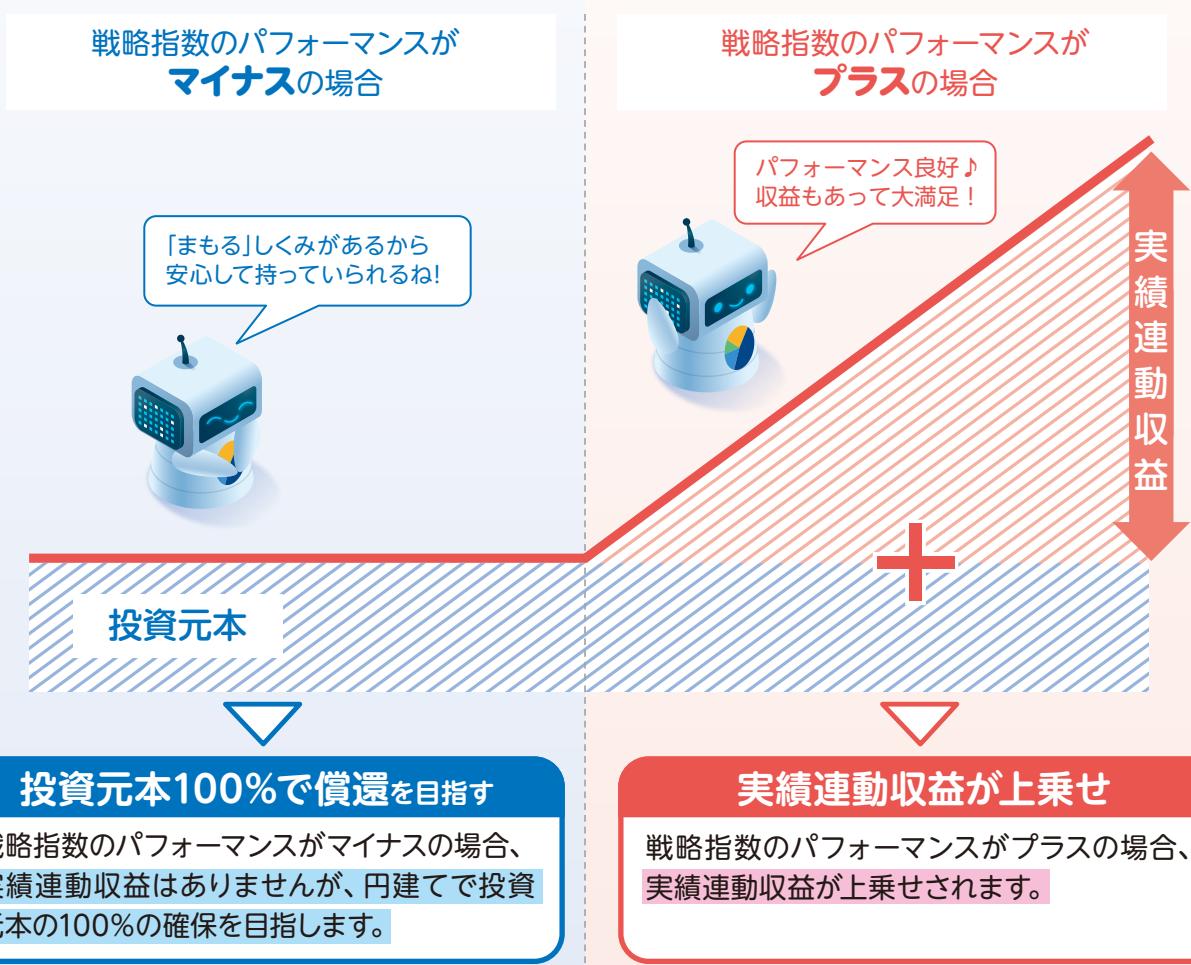
資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。



元本確保を目指しつつ、 高いリターンを追求

当ファンドはルミニスⅡ・リミテッドが発行する円建て債券*（以下、ゴールドマン・サックス社債）に高位に投資し、設定日から約6年後の満期償還時に、元本の確保を目指します。さらに、「ROBOPRO戦略VT5指数」（以下、戦略指数）のパフォーマンスがプラスの場合は、実績連動収益が上乗せされます。

満期償還時における当ファンドの償還価額のイメージ



当ファンドの実績連動収益について

$$\text{実績連動収益} = \boxed{\text{戦略指数のパフォーマンス}} \times \boxed{\text{連動率}}$$

* ザ・ゴールドマン・サックス・グループ・インクが発行または保証する社債等を裏付資産としています。

※投資元本に購入時手数料は含みません。

※投資する債券（裏付資産を含む）の発行体・保証体等が債務不履行となった場合等には、元本確保ができない場合があります。

信託期間中に当ファンドを解約した場合や当ファンドが繰上償還された場合等には、解約価額や償還価額が元本を下回る場合があります。

※戦略指数の累積收益率は2032年1月27日（休日の変動により変更となる場合があります。）に決定される予定です。

※連動率は100%を目指しますが、ファンド設定時の市場環境等によっては100%を下回る場合があります。

ゴールドマン・サックス社債で 満期時に元本確保を目指す

信頼と実績のあるグローバルな金融グループ

「ゴールドマン・サックス・グループ」

Goldman
Sachs

ゴールドマン・サックスは本社である米国ニューヨークをはじめ、世界40カ国以上、約90拠点に約4万6,500人の社員を擁し、企業や金融機関、政府機関及び個人といった多岐にわたる顧客層に向けて投資銀行業、証券業、資産運用業を中心とした幅広いサービスを提供しています。

サービス提供地域

世界**40**カ国以上

グローバルビジネス拠点

世界主要都市に 約**90**拠点

社員数

約**4万6,500**人

※2024年12月末時点

ゴールドマン・サックス社債の保証体格付け

ムーディーズ

S&P

A2

BBB⁺

※2025年9月末時点

※ムーディーズとS&Pは代表的な信用格付業者です。

150年の歴史を持つ金融グループ

1869年にマーカス・ゴールドマンが、ニューヨークで事務所を開いたのが始まりです。1999年にニューヨーク証券取引所に株式を上場し、今では150年以上の歴史をもつ大手金融グループに成長しました。



国際的な金融システムにおいて重要な存在である ゴールドマン・サックス

金融安定理事会(FSB)は、国際的な金融システムの安定にとって欠かせない銀行を「グローバルなシステム上重要な銀行(G-SIBs: Global Systemically Important Banks)」として指定しています。日本では、三菱UFJフィナンシャル・グループ、三井住友フィナンシャルグループ、みずほフィナンシャルグループの3メガバンクがこのG-SIBsに指定されています。

影響度	影響度区分	金融機関名(現在29行)
大 	4	JPモルガン・チェース
	3	シティグループ、HSBC
	2	ゴールドマン・サックス、三菱UFJフィナンシャル・グループ 他10行
	1	モルガン・スタンレー、三井住友フィナンシャルグループ、みずほフィナンシャルグループ 他11行

※2024年11月時点

※区分はバーゼル委員会が定義した区分を基に、グローバルな金融システムへの影響度が高いと判断されているほど数値が高く、1~5の区分で表されます。ただし、現在は影響度区分5に該当する銀行はありません。

「ROBOPRO戦略VT5指数」で超過収

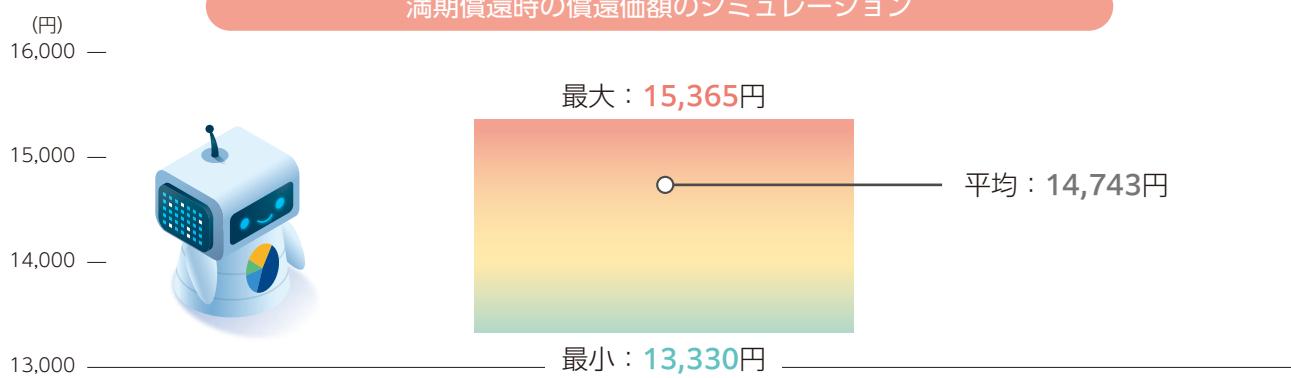
- ゴールドマン・サックス・インターナショナルは、株式会社FOLIO(以下、FOLIO)が提供する「ROBOPRO戦略」に基づく資産配分を参考に、戦略指数の算出を行います。
- 満期償還日(2032年2月25日)には、戦略指数のパフォーマンスに連動率を乗じた実績連動収益が、ファンドの償還価額に反映されます。
- 戦略指数は、米国株式、先進国株式、新興国株式、米国国債、米国ハイイールド債券、米国不動産、金の7資産で構成されます。

戦略指数のシミュレーション



※2017年12月29日を100として指数化

満期償還時の償還価額のシミュレーション



上記は一定の前提条件に基づき、過去のデータを用いてシミュレーションを行ったものであり、
実際の投資成果ではありません。
また、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。

※シミュレーション期間：2017年12月29日～2019年9月30日(日次、ファンド設定基準日ベース)

※戦略指数のパフォーマンスは、費用および戦略控除率を控除されています。なお、「戦略控除率」の詳細については、14ページをご参照ください。

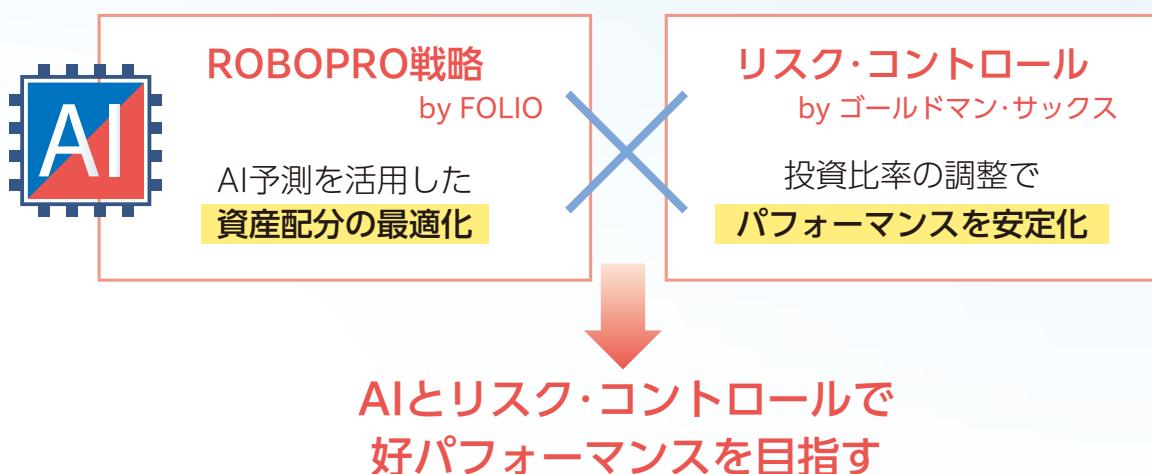
※償還価額のシミュレーションは、上記期間の各日をファンド設定日として満期日(6年後)まで保有した場合を想定して、連動率を100%と仮定し、戦略指数の過去のシミュレーション結果に基づき各償還価額を試算したものについて、それらの最大、最低、平均を示したものです。上記はあくまで例示を目的としたシミュレーションであり当ファンドの運用実績ではありません。また、将来の運用成果および連動率が100%となることを保証するものではありません。

(出所) ゴールドマン・サックスのデータを基にSBI岡三アセットマネジメント作成

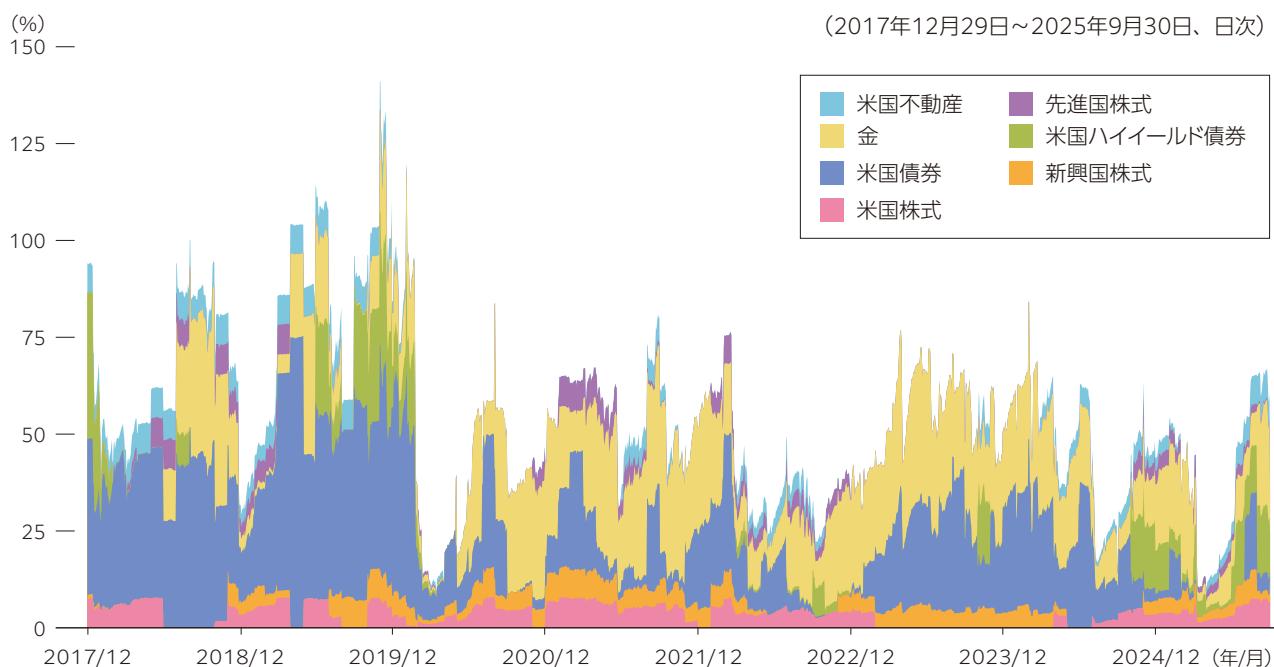
益の獲得を目指す

- 戰略指数は、投資環境に応じてリスクとリターンのバランスを取りながら、資産拡大の機会を積極的に狙います。
- ポートフォリオ全体のリスク水準は、年率5%程度となるように投資比率を調整します。なお、投資比率は、最大150%程度まで引き上げることができます。

戦略指数の運用イメージ



戦略指数の資産配分および投資比率の推移



上記は一定の前提条件に基づき、過去のデータを用いてシミュレーションを行ったものであり、
実際の投資成果ではありません。
また、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。



AIを活用した相場の先読みで 好パフォーマンスを追求

- 戦略指標は、FOLIOが提供するAI予測を活用した「ROBOPRO戦略」に基づく柔軟な資産配分を反映します。
- 相場急変時には、AIのシグナルに沿って臨時に資産配分の見直しを行います。

高い精度の将来予測を目指すROBOPRO戦略

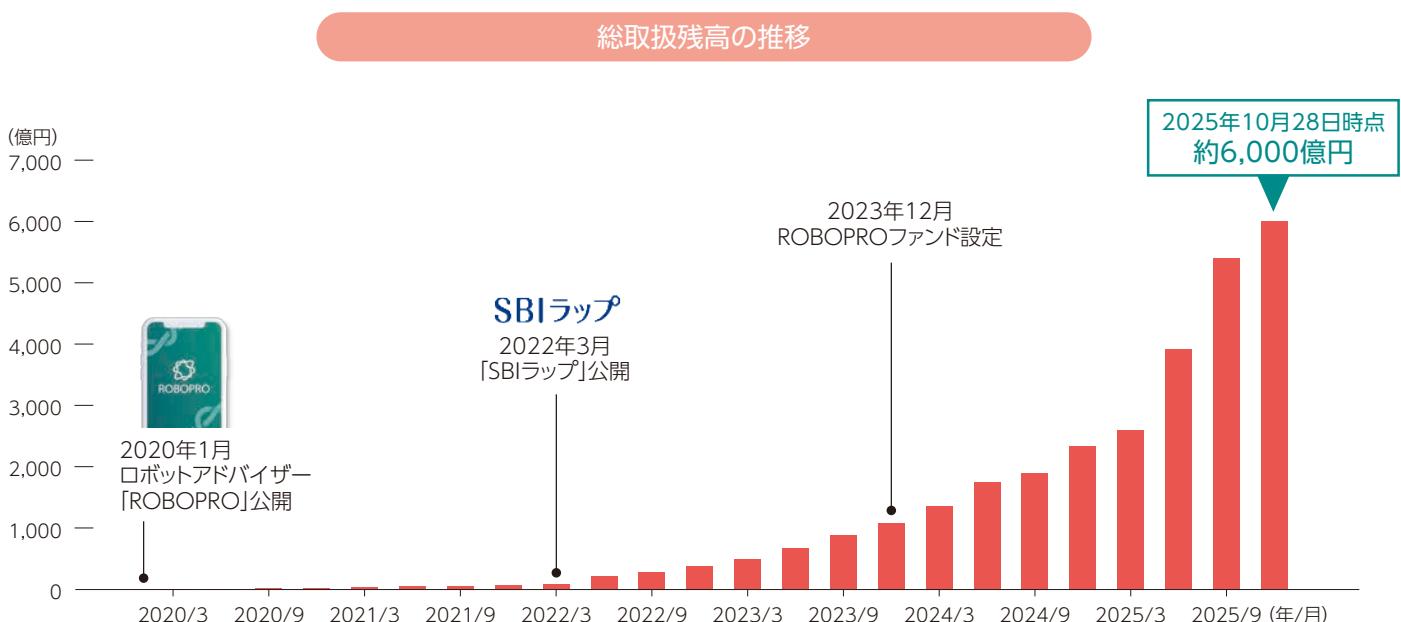
AI予測により、相場の急落や市場環境の変化などを事前に捉えることを目指し、様々な相場に対応することで効率的なパフォーマンスの獲得を追求します。また、最新のデータを用いて定期的に分析・学習を行い予測モデルの改善を続けることで、市場環境の変化への柔軟な対応を目指します。



* 対象データの特徴を定量的な数値として表したものです。

AIテクノロジーを駆使して資産運用サービスやシステムを提供するFOLIO

株式会社FOLIOは2015年12月に設立。親会社であるFOLIOホールディングス傘下のAlpacaTech株式会社とともに国内有数のAIテクノロジーを駆使し、一般投資家および金融機関向けに資産運用にかかるサービスやシステム等を提供しています。



※「総取扱残高」とは、「FOLIOが直接お客様に提供する投資一任運用サービスの運用資産」、「銀行・証券会社等の金融機関における、4RAPを活用した投資一任運用サービスの預り資産」、「FOLIOが投資助言業者として関与する金融商品の資産」の合計金額を指します。

※データは、2020年3月末～2025年9月末の四半期毎。2025年10月は10月28日時点

(出所)FOLIO

ご参考:AI運用の強みとは

人間が相場を予測する際の思考を高度化

ROBOPRO戦略は、マーケットデータの動向やデータ間の関係性(例:「金利が上昇すると、株式は下落」など)を多角的に分析して予測モデルを生成し、各投資対象資産の約1ヵ月後のリターンを予測します。



人間が相場を予測する場合(イメージ)

(例) 株式相場と各データの関係性

データ



金利が上昇傾向



株式は下落?



相場に過熱感あり



上値は限定的?



VIX指数が上昇



株式は下落?

予測
株式は下落しそう?

いくつかのデータは考慮できても…人間の分析力には限界がある



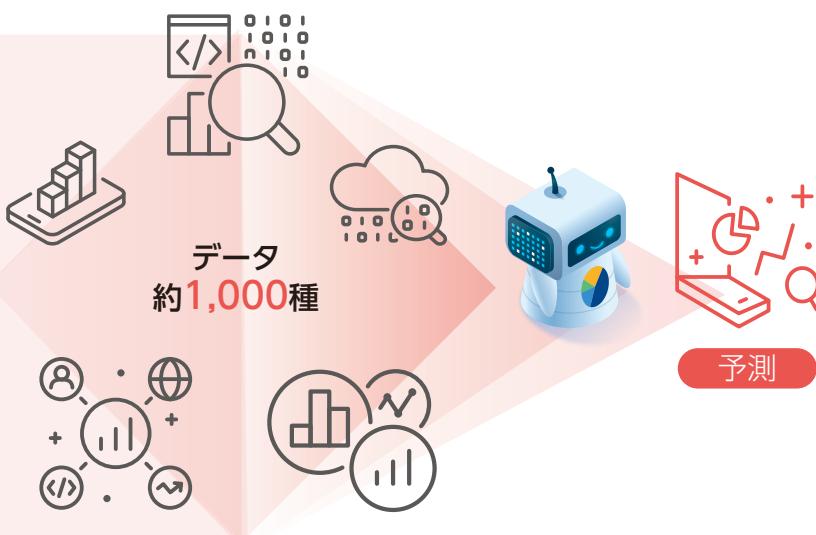
AIが相場を予測する場合(イメージ)

POINT1

人間では処理が困難な
膨大なデータを分析

メリット

人間では気づきにくい
データ間の関係性を発見



POINT2

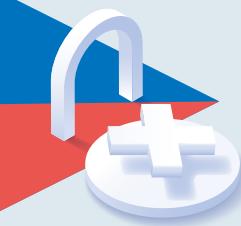
データの関係性を
定期的に再学習しモデル改善

メリット

過去の経験にとらわれず、
市場の変化に対応

予測

(出所) FOLIO



ファンドの特色

1

ルミニスII・リミテッドが発行する円建て債券^{*1}(以下、「ゴールドマン・サックス社債」といいます。)に投資を行い^{*2}、設定日から約6年後の償還価額^{*3}について、元本を上回る投資成果を目指します^{*4}。

*1 ザ・ゴールドマン・サックス・グループ・インクが発行または保証する社債等(以下、「社債等」といいます。)を裏付資産としています。

*2 満期まで保有することを前提とし、原則として銘柄入替は行いません。

*3 ファンドは、信託期間約6年の単位型投資信託です。

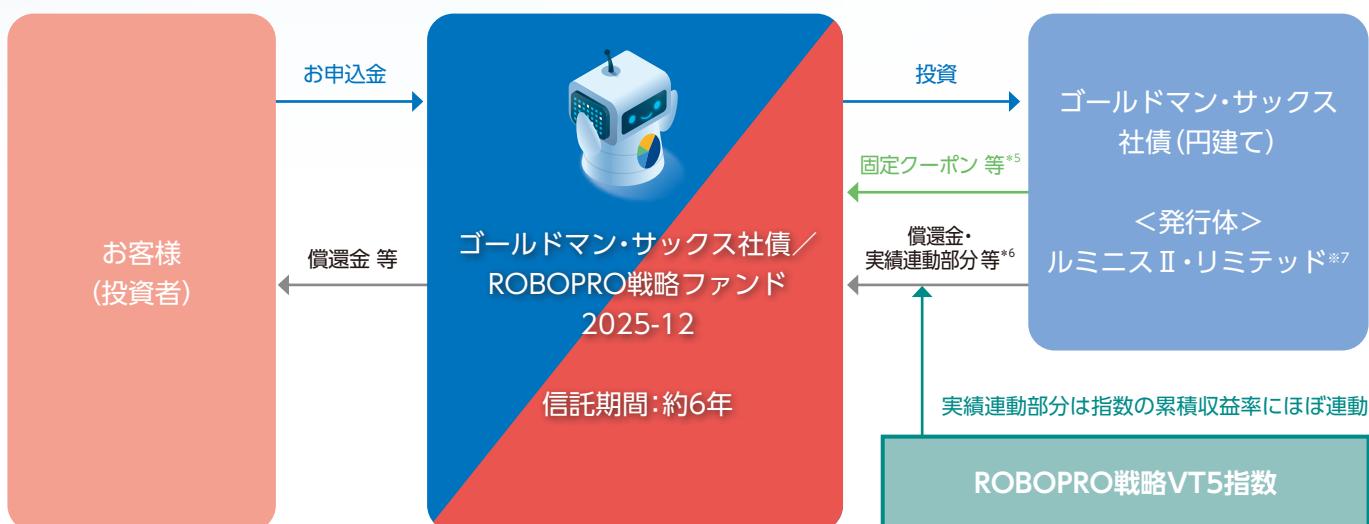
*4 投資する債券(裏付資産を含む)の発行体・保証体等が債務不履行となった場合等には、元本確保ができない場合があります。信託期間中にファンドを解約した場合やファンドが繰上償還された場合等には、解約価額や償還価額が元本を下回る場合があります。

ファンドは満期償還時に元本を上回る投資成果を目指しますが、元本の確保を保証するものではありません。
元本に購入時手数料は含みません。

ルミニスII・リミテッド(LUMINIS II Limited)について

ルミニスII・リミテッド(以下、「発行体」といいます。)はケイマン諸島において設立されている特別目的会社です。特別目的会社は、債券の発行などの事業を営むことを目的とした会社であり、一般的に資産の証券化や仕組債を発行する際に使用されます。

ファンドの仕組み



*5 固定クーポンは、原則信託報酬等に充当することを目指します。

*6 実績連動部分は、運用開始基準日以来のROBOPRO戦略VT5指数の累積收益率がマイナスの場合には実績連動収益はゼロになります(連動する水準はファンド設定時の市場環境等によって決定されます)。

*7 ルミニスII・リミテッドはケイマン諸島において設立されている特別目的会社です。債券発行代わり金をもって次の資産(裏付資産等)に投資します。

①ザ・ゴールドマン・サックス・グループ・インク(金融持株会社)が発行する債券(外貨建ての場合は為替変動リスクを回避する取引を実施します)

②ゴールドマン・サックス・ファイナンス・コーポ・インターナショナル(金融持株会社の子会社)が発行するパフォーマンス連動証券

③ゴールドマン・サックス・インターナショナルとのスワップ取引

※上図はファンドの仕組みをご理解いただくためのイメージです。

ファンドは特化型運用を行います。

特化型運用ファンドとは、投資対象に一般社団法人投資信託協会規則の「信用リスク集中回避のための投資制限」に定められた比率を超える支配的な銘柄が存在し、または存在することとなる可能性が高いファンドをいいます。

ファンドは、ゴールドマン・サックス社債に限定して投資を行いますので、当該銘柄の発行体・保証体等に経営破綻や経営・財務状況の悪化などが生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。

ゴールドマン・サックス社債の運用成果は「安定運用部分」と「積極運用部分」で構成されます。



安定運用部分

社債等(外貨建ての場合は為替ヘッジを行います。)に投資を行い、円ベースでの元本確保を目指します。



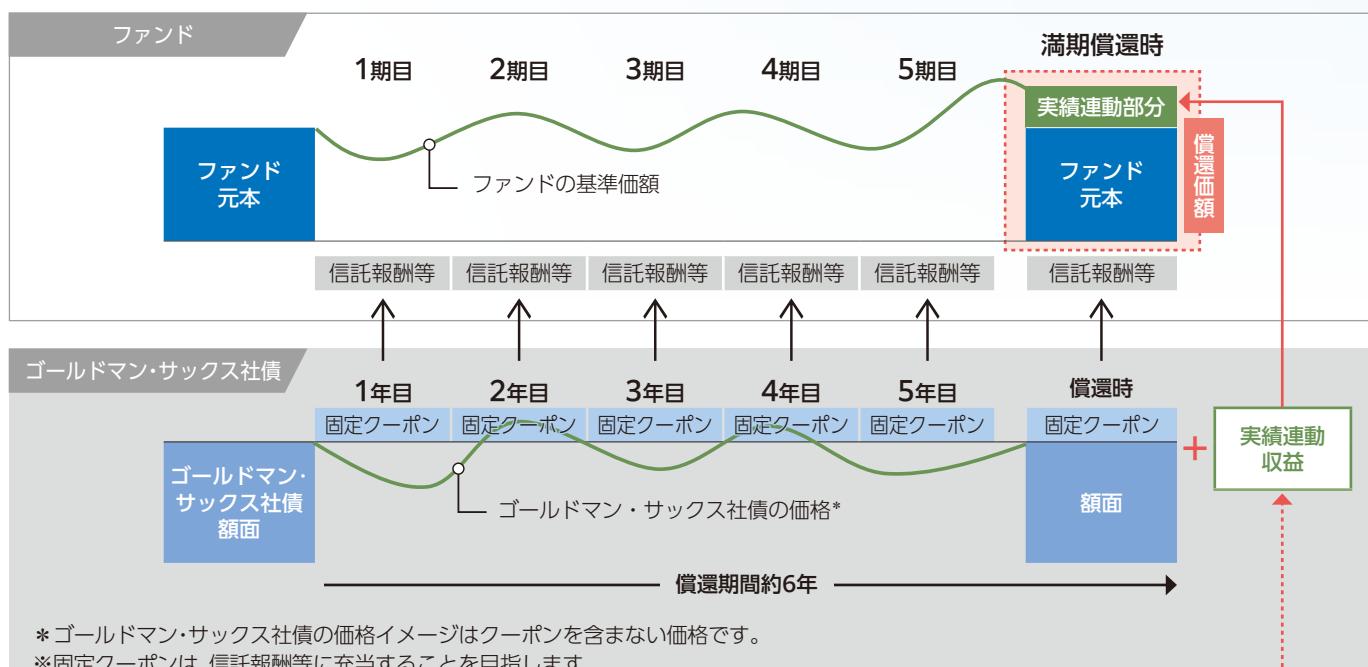
積極運用部分

「ROBOPRO戦略VT5指数(以下、「戦略指数」といいます。)」に連動した実績連動収益の確保を目指します。実績連動収益は、ゴールドマン・サックス社債の満期時に元金とともに支払われます。

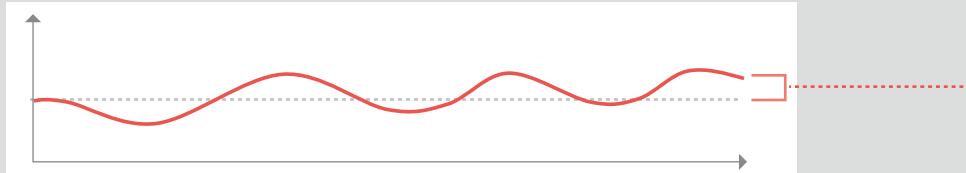
ROBOPRO戦略VT5指数とは

FOLIOがAI予測を用いて算出した資産配分に基づくポートフォリオに対し、ゴールドマン・サックス・インターナショナルが年率リスクが5%程度になるようリスクコントロールを付与した戦略です。世界の株式、債券、リートおよび金の7資産を実質的な投資対象とします。戦略指数における投資比率は最大150%程度とします。

<ご参考>ファンドとゴールドマン・サックス社債の関係(イメージ)



戦略指数のパフォーマンス



※上記はイメージであり、各項目の大きさが実際の元本、収益、費用等の大きさを表すものではありません。また、ファンドの将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。

実績連動収益について

- 実績連動収益は、戦略指数のパフォーマンスに基づき決定されます。
- 実績連動収益は、運用開始基準日(2026年1月5日)以降の戦略指数の累積収益率にほぼ連動する水準に決定します。
- 戦略指数の累積収益率がマイナスの場合は、実績連動収益がゼロとなります。ファンドの償還価額にマイナスの影響を与えることはありません。



投資リスク

基準価額の変動要因

投資者の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様に帰属します。

ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。

主な変動要因

金利変動リスク	金利は、経済環境や物価動向、金融政策、経済政策等を反映して変動します。一般に、金利が上昇した場合には債券の価格は下落し、金利が低下した場合には債券の価格は上昇します。投資した債券の価格の上昇は、ファンドの基準価額の上昇要因となり、投資した債券の価格の下落は、ファンドの基準価額の下落要因となります。
連動債券に関するリスク	連動債券の価格は、投資対象資産の価格変動以外に、取引に関する関係法人の財務状況の変化等およびそれに関する外部評価の変化や国内外の経済情勢等により変動します。ファンドはゴールドマン・サックス社債を主要な投資対象とするため、市場金利や当該債券の発行体・保証体の信用状況に変化がない場合でも、ゴールドマン・サックスが資金調達を行う市場環境が悪化した場合、ゴールドマン・サックス社債の価格が下落し、基準価額が下落する要因となります。また、ゴールドマン・サックス社債の価格は、戦略指数の収益率等の影響を受けます。戦略指数は、世界の株式、債券、リートおよび金の7資産で構成され、その基礎となる原資産の価格変動および市場動向等により変動し、取引の種類によっては原資産の価格変動以上の値動きをすることがあります。また、戦略指数を構成する資産のうち外貨建資産は為替変動の影響を受けます。したがって、為替相場が当該外貨建資産の通貨に対して円高になった場合には、戦略指数の収益率が下落する可能性があります。当該債券の償還価格に含まれる実績連動部分は戦略指数の収益率等を参照して算出されるため、当該収益率の下落はゴールドマン・サックス社債の価格の下落要因となり、ファンドの基準価額が下落する要因となります。戦略指数の累積収益率がマイナスであった場合、実績連動部分はゼロとなります。
銘柄集中リスク	ファンドは、ゴールドマン・サックス社債1銘柄を高位に組入れる特化型運用を行います。当該銘柄の発行体等に経営破綻や経営・財務状況の悪化などが生じた場合には、大きな損失が発生し、ファンドの基準価額が著しく下落する要因となります。
信用リスク	有価証券等の発行体の破綻や財務状況の悪化、および有価証券等の発行体の財務状況に関する外部評価の変化等の影響により、投資した有価証券等の価格が大きく下落することや、投資資金が回収不能となる場合があります。このような場合には、ファンドの基準価額が下落する要因となります。ファンドが投資するゴールドマン・サックス社債(裏付資産等を含む)の発行体・保証体等に債務不履行が発生あるいは懸念される場合等には、基準価額が下落する場合があります。
繰上償還リスク	ファンドは、満期償還時点において受益者の投資元本の確保を目指しますが、主要投資対象とする債券が以下に掲げる場合等により債務不履行(デフォルト)となった場合、発行体の裏付資産、スワップ取引について、早期償還、終了、債務不履行(デフォルト)もしくは債務削減・リストラクチャリングまたは課税事由が発生した場合(発生する可能性を含みます。)、または当該債券、発行体の裏付資産等、発行体、もしくは裏付資産に対する保証体その他関係会社のヘッジ行為に関して法令あるいは税制の変更、課税状況の変化等により当該債券が早期償還となる場合、当該債券の資金化後に繰上償還を行います。その場合、当該債券は時価で換金されるため元本の確保ができず、ファンドの償還価額も投資元本を下回る可能性があります。 <投資対象とする債券が債務不履行(デフォルト)となる主な場合> 1.債券(裏付資産を含む)の発行体または保証体が元金の支払いを怠った場合 2.債券(裏付資産を含む)の発行体または保証体が利息の支払いを怠り、発行体が不払いの通知を受領してから30日が経過しても利息の支払いが行われなかった場合 3.発行体が、(i)法の適用法によるか否かを問わず、その債務の全部もしくは重要な部分に関して、債権者との間で、もしくはその利益のために、財産の包括的譲渡、和解、もしくは整理を行う場合、もしくは適用法の目的でこれらを行うとみなされる場合、または(ii)その債務の全部もしくは一部の再調整もしくは繰延べを実行する目的で、交渉を開始し、法的手続きを講じる場合、もしくは適用法の目的でこれらを行うとみなされる場合
流動性リスク	市場規模、取引量、取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合には、取引価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないことや、値動きが大きくなることがあります。基準価額に影響をおぼす可能性があります。ファンドが投資するゴールドマン・サックス社債は、市場混乱等があった場合や発行体・保証体等の信用状況が著しく悪化した場合等には流動性が著しく低下し、売却価格が一般的に想定される価格と乖離することにより、想定以上にファンドの基準価額が下落し、損失を被る可能性があります。また、ファンドが投資するゴールドマン・サックス社債(裏付資産等を含む)の発行体・保証体等の信用状況が著しく悪化した場合等には流動性が著しく低下し、ゴールドマン・サックス社債の一部売却ができなくなり、そのために換金の受付を中止することがあります。

※「基準価額の変動要因」は、上記のリスクに限定されるものではありません。

留意事項

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てる必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金申込みの受付が中止となる可能性、換金代金の支払が遅延する可能性があります。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- ROBOPRO戦略VT5指数に重大な変更があった場合、または算出・公表が停止等された場合等には、主要投資対象とする債券の発行要項により、利金の条件等が変更となります。
- ファンドは、中途解約した場合、換金価額が投資元本を下回る可能性があります。
- 取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、主要投資対象とする円建て債券の換金ができなくなったとき、その他やむを得ない事情があるときは、換金申込みの受付を中止することや、すでに受けた換金申込みの受付を取消すことがあります。

ファンド固有の留意点

●AI/機械学習モデル活用のリスク

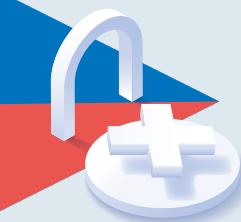
FOLIOは、AIと機械学習を用いて戦略指数の資産配分を最適化します。当該モデルの活用は潜在的な利益をもたらす可能性がありますが、次に掲げる固有のリスクを認識頂くことが重要です。

- (i) AI/機械学習モデルによる市場予測は、将来のトレンドや投資結果を示唆または保証するものではなく、過去の運用成績は将来の結果を示唆するものではありません。
- (ii) 予期せぬ要因や市場イベントがモデルに影響を与え、予期せぬ投資結果につながる可能性があります。
- (iii) AI/機械学習モデルの有効性は、入力データの質に大きく依存し、不正確または不完全なデータは、最適とは言えない投資判断につながる可能性があります。
- (iv) 一定の状況においては、FOLIOによる人的介入が必要となる場合があります。
- (v) 市場環境の変化、データの利用可能性、モデル・アルゴリズム等によりAI/機械学習モデルの調整が必要となる場合があり、これが戦略指数の運用成果に影響を与える可能性があります。なお、ゴールドマン・サックスは、当該AI/機械学習モデルの開発には関与しておらず、目標の達成について責任を負うものでも、その表明を行うものではありません。

●ゴールドマン・サックスの免責条項

ゴールドマン・サックス社債/ROBOPRO戦略ファンド2025-12(以下「当ファンド」)は、SBI岡三アセットマネジメント株式会社(以下「使用権者」といいます。)またはその関連会社により運用されており、使用権者の商品です。「ゴールドマン・サックス」は、Goldman Sachs & Co. LLC(以下「使用許諾者」といいます。)の日本およびその他の国において登録された商標です。使用許諾者の商標は、使用許諾者の使用許諾により使用されています。使用許諾者およびその関連会社(以下「GS」といいます。)は、使用権者またはその関係もしくは関連する会社もしくは当ファンドを含みますがこれに限られない金融商品、投資信託もしくは指数と、何らの関係、関与または関連がありません。GSは、当ファンドの設定または販売に責任を負わず、また参加していません。GSおよびその使用許諾者は、有価証券一般もしくは当ファンドへの投資または当ファンドが市場一般もしくは指数実績を追跡する能力の有無もしくは投資リターンを提供する能力の有無に関して、当ファンドの保有者または公衆に対し、明示的か黙示的かを問わず、いかなる表明または保証も行いません。使用許諾者と使用権者の関係は、当ファンドに関する使用許諾者の商標の使用許諾に限られます。

GSは、当ファンドの価格または金額、当ファンドの発行または販売の時期、当ファンドを現金化し、引き渡しまたは償還する(場合によります。)ための等式の決定または計算に、責任を負わず、また関与していません。使用許諾者は、当ファンドの管理事務、マーケティングまたは取引に関する義務および責任を負いません。投資商品が、正確に指数実績を追跡すること、または投資リターンを提供することについて、保証はありません。使用許諾者は投資助言者ではなく、そのため、いかなる有価証券についても購入、売却または保有の推奨を行わず、また投資助言も行っていません。GSは、当ファンドを支持し、承認し、スポンサーとなり、または販売促進することなく、当ファンドまたは他の金融商品および使用権者もしくはその関連会社のファンドに投資することを推奨することはありません。



お申込みメモ

購入時	購入の申込期間	2025年12月1日～2025年12月26日まで
	購入単位	販売会社が定める単位 ◆詳しくは販売会社にご確認ください。
	購入価額	1口当たり1円
換金時	換金単位	販売会社が定める単位 ◆詳しくは販売会社にご確認ください。
	換金価額	換金申込受付日の翌々営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額
	換金代金	換金申込受付日から起算して、原則として7営業日目から販売会社を通じてお支払いします。
保有期間中	換金申込不可日	以下に該当する日は、換金申込みの受付を行いません。 ・ゴールドマン・サックス社債の買取申込不可日 ・ロンドンの銀行、ニューヨークの銀行、ニューヨーク証券取引所、ユーロクリアのいずれかの休業日 ・換金申込日から起算して2営業日目から5営業日目までのいずれかの日がロンドンの銀行もしくはユーロクリアの休業日の場合 ・換金代金の支払い等に支障をきたすおそれがあるとして委託会社が定める日 ◆設定日から2026年1月13日までは換金申込の受付を行いません。
	信託期間	2032年2月25日まで(2025年12月29日設定)
	繰上償還	主要投資対象とする債券(裏付資産を含む)の発行体・保証体等が債務不履行(デフォルト)となつた場合、または当該債券が法令あるいは税制の変更等により早期償還となる場合には、資金化後にファンドを繰上償還させます。 受益者のため有利であると認める場合、投資信託財産の純資産総額が30億円を下回ることとなつた場合、ROBOPRO戦略VT5指数に重大な変更が生じた場合、または算出・公表が停止された場合、やむを得ない事情が発生した場合等には繰上償還となることがあります。
	決算日	毎年2月25日(休業日の場合は翌営業日)
	収益分配	年1回、収益分配方針に基づいて収益の分配を行います。 ◆将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
	課税関係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA(少額投資非課税制度)の適用対象となります。 ファンドは、NISAの対象ではありません。配当控除および益金不算入制度の適用はありません。 税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

委託会社およびその他の関係法人

委託会社【投資信託財産の設定、運用の指図等】	SB 岡三アセットマネジメント株式会社
受託会社【投資信託財産の保管・管理等】	三井住友信託銀行株式会社
販売会社【購入・換金の取扱い等】	販売会社の詳細につきましては、下記の委託会社電話番号までお問合せいただか、ホームページをご参照ください。

委託会社
お問い合わせ先

電話番号
03-3516-1300
(営業日の9:00～17:00)



ホームページ
<https://www.sbiokasan-am.co.jp>



お客様にご負担いただく費用

お客様が直接的に負担する費用

購入時	購入時手数料	購入金額(購入価額×購入口数)×上限3.3% (税抜3.0%) ◆詳しくは販売会社にご確認ください。 ◇ファンドの商品説明および販売事務手続き等の対価として販売会社に支払われます。
換金時	換金手数料	ありません。

信託財産留保額 1口につき、換金申込受付日の翌々営業日の基準価額×0.3%

お客様が信託財産で間接的に負担する費用

保有期間中	運用管理費用 (信託報酬)	元本総額×年率0.693% (税抜0.63%)以内* 委託会社 年率0.20%(税抜)以内* 委託した資金の運用の対価です。 販売会社 年率0.40%(税抜)以内* 運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価です。 受託会社 年率0.03%(税抜) 運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価です。 ※設定日から2026年1月13日までは、合計年率0.693% (税抜0.63%)、 委託会社年率0.20% (税抜)、販売会社 年率0.40% (税抜) とします。2026年 1月14日以降の料率については、ゴールドマン・サックス社債の発行条件 を勘案して委託会社が決定します。なお、当該料率およびその配分について は、委託会社のホームページで公表します。 ホームページは こちら 
	戦略指數から控除される費用等	ファンドの主要投資対象であるゴールドマン・サックス社債の満期償還時における実績連動部分 は、ROBOPRO戦略VT5指数(戦略指數)の収益率等を参考して決定されます。同指數のリターン (損益)は、各資産の構成比率とそれぞれの収益率を合成し、下記の複製コスト、取引コストおよ び戦略控除率等を控除して算出されます。 ■各資産の複製コストの最大値：年率0.50% ■リバランスにおける取引コストの最大値：都度0.02% ■日次のリスクコントロール時におけるポジション量の調整の取引コスト：都度最大0.0145% 指數から控除される複製コスト、取引コストの合計値は、各資産の組入比率等により変化します。 (取引コストの最大値は、2017年12月29日から2025年9月22日における日次取引コストの 最大値、ゴールドマン・サックス証券による試算) ※複製コストおよび各取引コストの試算は合計で年率0.13%～年率0.34%程度(2017年12月29日から 2025年9月22日における年間相当コストの最大値と最小値、ゴールドマン・サックス証券による試算)です。 ※上記は、過去の構成資産の指數の変動率等を基に試算した結果であり、市場環境等によっては試算の最大 値を超過する場合があります。また、各コストは変更される場合があります。 ■戦略控除率：年率1.0% ※戦略控除率は、戦略指數に乘じる連動率等を実現するために必要なものとして、実績連動部分の計算ル ールにおいて定めるものです。ゴールドマン・サックス社債の発行体やファンドの関係法人(委託会社や販売会 社等)が報酬として受け取るものではありません。
	その他の費用・手数料等	■資産配分比率指定の報酬に充当する費用：投資先債券の当初額面に対し年率0.2%以内 ※資産配分比率指定の報酬は株式会社FOLIOへの報酬を指します。 ※上記は有価証券届出書提出日現在で知り得る情報に基づくものであり、今後、変更される場合があります。
その他費用・ 手数料	監査費用：元本総額×年率0.011% (税抜0.01%) 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要す る諸費用等を投資信託財産でご負担いただきます。 (監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等 を示すことはできません。)	

○お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。

○詳しくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご参照ください。

■本資料は、SBI岡三アセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料です。本資料中の図表等は、各出所先(ホームページを含む)のデータを基にSBI岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものです。記載内容、数値、図表等は、本資料作成日時点のものであり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。本資料は当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

■購入の申込みに当たっては、「投資信託説明書(交付目論見書)」及び「契約締結前交付書面」又は「目論見書補完書面」を十分にお読みいただき、投資判断は、お客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

